

2022年7月27日

## レンゴー株式会社へのシンジケーション形式による 『グリーンローン』参加について

南都銀行（頭取 橋本 隆史）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼 COO 川本 洋祐氏）を借入人として、再生可能エネルギー設備等（化石燃料の燃焼に起因する二酸化炭素排出削減可能なバイオマス設備）を資金用途とした「グリーンローン」（以下、「本ローン」）に参加いたしましたので、お知らせします。

本件資金用途における設備資金は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、十分な環境改善効果が見込まれ、かつ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされています。また、グリーンローン原則が定める資金用途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポーティング・借入人の環境活動について、同所から最上位の「Green1」の評価を受けています。

当行グループでは、今後も気候変動を重要な社会課題の一つと位置づけ、再生可能エネルギー設備の活用による脱炭素につながる取組を支援するなど、二酸化炭素排出量削減の実現に貢献してまいります

### <本ローンの概要>

契約締結日	2022年7月27日
組成総額/契約期間	50億円/8年間
アレンジャー/エージェント	株式会社三井住友銀行
貸付人	南都銀行 他 11行
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"><li>◆バイオマスボイラ及び RPF※製造設備の新設<ul style="list-style-type: none"><li>・所在地：当社利根川事業所敷地内（茨城県坂東市）</li><li>・従来は LNG をエネルギー源として使用</li><li>・本設備導入により当 CO<sub>2</sub>排出量を年間約 90,000t-CO<sub>2</sub>削減見込</li></ul></li><li>◆木材由来のセルロース微粒子製造プラント新設<ul style="list-style-type: none"><li>・所在地：当社金津工場敷地内（福井県あわら市）</li><li>・生分解素材であるセルロース微粒子への代替により、マイクロプラスチックビーズに起因する海洋汚染抑制が期待される</li><li>・本件によりマイクロプラスチックビーズ 120 t（年間）削減見込</li></ul></li></ul>

※ RPF：Refuse paper & Plastic Fuel の略称。主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。バイオマスボイラの燃料として使用。

### <関連情報>

- レンゴー株式会社ウェブサイト (<https://www.rengo.co.jp/>)
- 株式会社日本格付研究所（JCR）ウェブサイト (<https://www.jcr.co.jp/>)

【本件に関するお問合せ先】 経営企画部（広報担当）古賀・甲村 <sup>こうむら</sup> TEL 0742-27-1599